

木馬会会報 (第68号)

＊フェブラリーS特集＊



97/02/14

～木馬達の予想～

本誌 トゥインクルダンディの予想

◎シンコウウインディ ○トーヨーシアトル ▲ストーンステッパー
△ユーコーマイケル, バトルライン, ビコーペガサス, マイネルブリッジ

平安S 1位同着の2頭のうちどちらを本命にするかで迷ったが、プリンカー効果で多少「噛付き癖」が消えたシンコウウインディを選んだ。大井でのサンライフテイエムとの直線の叩きあいからみて東京の長い直線もトーヨーシアトルより有利と思えるし、岡部くんは岡部くんだし、多少の雨でしまった馬場もこの馬に有利に働くと信じたい。雨が降らずに力のいる馬場のままなら対抗トーヨーシアトルの逆転も有り得るか。良馬場での東京1,600はどちらかといえば先行馬有利。シンコウウインディの前で競馬するトーヨーシアトルの方が有利ではあるはず。

栄蔵の一番弟子 TP

◎…トーヨーシアトル ○…バトルライン ▲…イシノサンデー
△…シンコウウインディ, ストーンステッパー, ビコーペガサス, ビッグショウリ
～TPの屁理屈～

初のダートG1。まず、注意しておくべきは、東京ダートの特徴。

①今開催はかなり砂が深いため、時計がかかり、追い込みが効きにくい。

②スタートから約120m芝なので、ダッシュ力のない馬は置いていかれる。

以上にプラスして、今回逃げるのはカネツクロスか、エフテーサッチ。G1だし、経験豊富な馬達なので、ここで一発大逃げという馬もおるまい。とにかく普通に考えれば、Hペースにはならない。これらを勘案すると、中段より後ろに位置しては、まず届かないという結論が導かれる。

今回一番厄介なのは、ユニコーンS、SDダービー、ダービーGP、平安Sという一連のダート重賞を戦ってきたBライン、Iサンデー、Sウインディ、Tシアトルと、短距離路線を歩んできたSステッパーのどちらが強いのか?または、その5頭はいずれも5歳馬で、まだ戦っていない古馬の方が強いのか、ということではないだろうか。そこでまず言えることは、強いダート馬は、強いときに長期間強く続けるものである、ということ。それが、過去10年の連対馬に、前走掲示板をはずした馬は2頭しかいないということも裏付けている。今回、古馬の古豪に上り調子である馬はいない。だから、基本的に5歳馬を中心に考えてよからう。

次に、中距離路線と短距離路線の馬の比較だが、ダート馬というのはあまり距離適性うんぬんはないと思う。今までダートで強い馬は、1600のフェブラリーから、2300のウインターまで問題なくこなしてきた。しかし、1200の距離になるとちょっと違っている。2300を走った馬は1600でも強いが、1200に強いかとなると疑問である。つまり、ダートの1200と1600には多きな壁があると思うのだ。Sステッパーは1200がベストだろう。確かに東京の1600も勝っているが…私が気になるのは、前走1200

に関わらず、掛かり気味だったことである。1200だから、抜け出して突き放すという強い勝ち方ができたのだと思う。今回の場合、逃げ馬2頭の実力がなく、直線向いてすぐ後退することが考えられ、そうするとかなり早目に先頭に立ってしまい、他の馬の目標になり兼ねない。であるから、中距離路線の4頭の方が、私は有利と思う。

そこで本命はTシアトル。この馬、ウインターSを勝った時点では、そのタイムの優秀さにもかかわらず、ただの中京巧者で、相手も弱かったと馬鹿にしていた。そのレースが連闘だったため、次の平安Sではほとんど無視していたのだが、一番強いレースをした。連闘明けであれだけ強い勝ち方を目の当たりにし、この馬は一昨年のライブリマウントのような勢いがあると感じた。バトルは出走賞金を得るため、無理使いをしたことのみが減点だが、そう差があるわけではない。前走1400を経験したのはかえってよかったのではないか。単穴はやはりG1馬Iサンデー。前走大敗したが、それは地方でのこと。金杯で、やはりG1馬と思わせた走りを忘れてはいけない。他の5歳馬と差があるわけではなく、人気落ちるのならおいしい。シンコウも差はない。ちょっと血統が弱いかもしれないが…。

その外に問題になる馬は、ビコー、ビッグ、ユーコーぐらいであろう。ビッグは、どうも重賞では足りなくなってきているノーザンテースト産駒だし、ビコーは追い込むだけではないが、休み明け、小さな馬というのが減点。ユーコーは極端な追い込み脚質が今の東京には合わない。

と言うことで、一応7頭あげているが、5歳馬5頭で決まるだろう。5頭でどう組み合わせるかはかなり難しいので、枠順、馬体重を見てから決めることとしたい。

結局去年の回収率は94.7%。過去最高を記録させてもらった。今年の目標だが、回収率100%は私の義務であり、目標にはなり得ない。とりあえず、130%としておこう。今年は出足好調だったのだが、ここ15戦で1勝しかしてないのでいっきにがた落ち。現在の回収率80.8%

心配御無用!

◎ストーンステッパー：秋からの連戦も、前走前に一息入れローテーションも万全

○バトルライン：連戦の疲れが無ければ良いが、ローテーションに不安が残る

▲シンコウウインディ：前走はプリンカー効果てきめん、まだ底を見せてないが惨敗も有

▲トーヨーシアトル：マイル戦に一抹の不安

…ユーコーマイケル：マイルは長い

…カネツクロス：ダート得意も、実績はオープンまで。

…ビコーペガサス：マイルは長い、武人気でオッズを上げて欲しい

…カシマドリーム：ダートは未知数、G1はそんなに甘くない

芝からの転戦組はG1を勝てないから路線変更した口であり、ダート組も上位4騎とは勝負づけ済み。故に、上位4騎のBOX買いで十分。

この組み合わせ以外を買っても金をドブに捨てるようなものだ。

(実際は6点も買えないので、3点ぐらいに絞って買うことになるでしょう。)

(筆者主観による上位4騎の実力分析)

	距離	ローテ	斤量(対前走)	格	輸送	府中コース	寸評
S ステッパー	◎	◎	56→56	◎	◎	◎	安定度はメンバー中ピカイチ。余程の不利が無いとこけない。
S ウィンディ	○	○	55→56	○	◎	◎	安定度劣るも、このひ弱さが応援したくなる。
B ライン	◎	▲	55→56	○	◎	◎	ローテがどう影響するかに尽きる
T シアトル	▲	◎	55→56	◎	▲	▲	重賞ウィナーも初コース、初距離が課題、すんなりも有る。

ライスシャワシャワ

ライオン/シャワの予想はよそ?

2月にG1。しかもダート。出走メンバーを見れば、たいした馬はいないし、せめてホクトベガでも出てくれれば、少しはカッコがつくのでしょうか。しかしドバイへ遠征するのであれば仕方がないのでしょうか。

と、低調なメンバーですが、本命は◎トーヨーシアトル。芝では足りないと言う事で、ダートに回った途端に3連勝。重賞連勝中。前走・平安Sはゴール前甘くなったところで、シンコウウインディに追いつかれて、1着同着となったが、抜け出した後に、ソラを使ったとかで、今回も同じ事をするような気がしないでもないが、ストーンステッパー、バトルラインより一歩追い出しを我慢すれば、差し切れるはずである。

前々走で中京のウインターSを勝っており、左回りも大丈夫。

相手には、○イシノサンデー。川崎記念は見せ場なく終わったが、小回りコースが悪かったのではないかな。その点、今回はのびのびと走れる東京コース。実際、昨年の東京で行われた降雪によりダート変更となったジュニアCをメンバーがせこかったとは言え、楽勝している。イマイチ成績にムラがあるが、前走の惨敗で人気を落とすであろう今回は狙い目である。中10日という、変則な連闘ではあるが、状態に不安があれば出走してこないだろう。日曜日は雨の予報でもあり、足拔きのいいダートなら、スピードを生かせる。腐っても皐月賞馬であり、このメンバーでは格が違い、圧勝もあるのではないかな。

他では▲カネツクロス。近走はパツとしないが、ダートは9戦4勝、2着3回と成績も良く、ダートでの変わり身に期待する。逃げるだけのスピードはないだろうが、好位追走から抜け出しを図れば、連には絡めそう。△は当てにいつてのストーンステッパー。本来ならば、4連勝中のこの馬を本命にすべきであろうが、神無月Sで東京1600mを勝っているとはいえ、最近では1200mを使っており、400mの距離延長を心配して評価を下げた。東京の1600mはそんなに甘くはないと思うのであるが、もう1頭追加して、ライブリマウント。休養で立ち直ってくれば、まだ捨てたものではないとは思うが。

バトルラインは降着があったり、勝ちきれないレースが続いたり、ツキもない。このレースに

出走するためにローテーションがきつくなったのも、事実であり、運も実力のうちということで、無印。ただ、出走予定馬の回避により繰り上がって出走できるようになったのは、ついているとも言えるが、この時点でツキを使い果たしたということ。同じようなのがもう1頭いる。ビコーペガサスである。スプリンターズSは故障したニホンピロスタディの影響をもろに受けて、まったくレースにならなかった。いつも、いいところには来るが、勝ちはない。また今回も同じことになるのではないかな。距離も1600mでは気持ち長いような。個人的には、ミスタートウジンに出走してもらい、優勝してほしかったものだが。

ふえら

◎ストーンステッパー ◎トーヨーシアトル

△イシノサンデー、シンコウウインディ、バトルライン

今年はいろんなことがあります、とりあえず秋までにはミスターXを捕らえて、その後は一生懸命頑張ってTP氏に誉められるようになりたいな、と思っています。

とりあえず、最初のG1はとっておかないといけませぬ。

僕がマキバオーに出会ってからもう1年ちょっとたちます。いろんなことを教わりました。今まで当たらなかった勝馬投票券があたるようになりました。本当に感謝しています。ダート=力=外国産馬=大きい=黒い=金髪=へんなBGM=森田のビデオ=ティッシュ=女子高生モノ、(そうだ、そうだ、思い出した。飯島愛もいいけど女子高校生もいい。僕はちょっとした勘違いで両方のビデオがもらえるものだと思っていたので残念残念。)といった方程式もたれぞう君に教えてもらいました。

しかしながら、外国産馬なんて僕はあまり知りません。トーヨーシアトルは何かのレースでミスターXが本命にしていたから覚えているけれど他の馬はよく分かりません。ん、ちょっと待て、あれはトーヨーロータスではなかったか?

まっ、いいや。

そこで、ぼくちんちんの勘の登場。ダートは波乱が少ないような気がします。何の根拠もありませんけど。強い馬が強いレースをして勝っていく。そんな気がします。何の根拠もありませんけど。だから、ダートで優秀な成績を収めている馬、ダートを得意とする馬、血統的にダートにむいている馬、そしてあそこの大きい馬を中心にえらんでみました。これこそ何の根拠もありません。だから、◎はストーンステッパーに決まりです。

ところで、昨年あれだけ活躍したSS産駒が今年も活躍しないわけがありませんね。今年もSSだ!ということでストーンステッパーはこれにまであてはまってしまうのです。すごいですね。

個人的にはイシノサンデーを応援したいので、直前まで出走を迷っていたにもかかわらず、△に入れておきます。がんばってね。

最後に、僕はどんなことがあっても投稿は続けます。必ずミスターXをぬいて見せます。そして、チオの称号を手に入れるのです。それまでは、やめられませんって。

予想はウソヨ 四国の井崎

今年も「ボチボチでんな」という平均点滑り出し。万馬券の的中が1本もないというのが私にしては珍しい。少し買い目を絞りつつあります。したがって今年は5本ぐらいいかなあ。

さて、冬のポツンG1はいいですねえ。連続しているより、こうやってポツンとある方がG1の重

◎…ストーンステッパー	+0.7	+0.5	+0.4	+0.3
○…バトルライン	-0.4	0.0	-0.2	+0.6
▲…トーヨーシアトル	-2.2	-0.9	+2.0	-0.2
▲…ビコーペガサス	-0.7	+0.2	-0.8	-1.2

ということで、上記4頭BOX。比重はパドックで決める。トーヨーが中間イマイチという情報（太め）があったのでパドックで確認したい。

その他、土曜日のダイヤモンドは岡部マックスウィンザー、前走岡部がわざわざ小倉まで乗りに来たのを重視しよう、昨年ズバリだった小倉記念はひらめかない。A評価でハンデ頭のアラタマワンダーはよくなっていないとの情報、イブキニュースターが距離短縮で残らないか??

出張なので早めに作りました。フェブラリーは自信あり。

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
					セイ ントリ ファール	マリ ンオー シャン	マイ ネルブ リッジ	ビグ ショウ ウリ	トー ヨーシ アトル	スト ーン ステッ パー	ユー コー マイケ ル	9 ビ コー ペガ サス	8 シン コウ ウイン ディ	7 バト ルライ ン	6 ライ ブリ マウン ト	5 アイ オー ユー	4 カネ ツク ロス	3 イシ ノサン デー	2 エフ テー サッチ	1 アカ ネタリ ヤ	馬名
									○	▲	△	△	◎	△				△			トウインクルダベン
								△	◎	△		△	△	○				▲			TP
							△				△		△	◎		◎					へなりん
										○		△	△	◎	▲			△			おけらくん
					△			▲		○		△			△			◎			ドロシヨ
								△	△	○			△	◎	△		△				メーブルズ
									△		◎	◎	△	△							ミスターX
																					YO
									▲	◎			▲	○							心配御無用!
										◎	△				△		▲	○			ラッキー
																					ライジャリジャ
										◎	◎		△	△				△			タニワのラッキー
													△	△				△			ふまら

[illegible]

○...~20倍 ◎...20~50倍 ☆...50倍~

今年最初の会報は初めてのダートG1フェブラリーSとなります。今回から会報の配布をメールで行うこととなりました。ご了承ください。次号は桜花賞特集です。よろしく。